

# 【復興関連道路】 宮古市道北部環状線の現場見学会を開催！ ～平成 28 年度の開通を目指して～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

県が「復興関連道路」として宮古市山口～佐原間（計画延長 L=2.3km）で整備を進めている宮古市道北部環状線について、宮古市立鍬ヶ崎小学校の復興教育及びトンネル・橋梁の名称決定のために、9月25日（金）に現場見学会を開催しました。

現場見学会には、宮古市立鍬ヶ崎小学校の5年生から6年生の児童約70名が参加し、完成したトンネル内部を徒歩により見学したほかに、山口側の高台から市街地を一望しました。

トンネル入口で概要説明



トンネル内を歩きました！



山口側の市街地が一望できます！



トンネル入口で集合写真



児童の皆さんからは、「トンネルはどんな機械で掘るのですか？」「現在は土砂でこぼこしていますが、この道路は平らになるのですか？」「とても高いところに道路があり、現在は安全コーンが置いていますが、ここには柵などが設置される予定はあるのですか？」などの多数の質問をいただき、道路整備事業への関心の高さがうかがえました。

県では、今年を「本格復興邁進年」と位置付け、復興を強力に推し進めており、**宮古市道北部環状線の山口～佐原間 (L=2.3km)** について、**平成28年度の開通**を目指して工事を進めています。

【宮古市道北部環状線の事業概要】

岩手県東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保し、**災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築**することを目的として、**三陸復興道路整備事業を実施**しており、宮古市道北部環状線は、三陸復興道路整備事業の「復興関連道路」に位置付け、重点的に整備を進めています。



- 宮古市街地の北側を通過し、国土交通省が施工する**三陸沿岸道路宮古北 IC**と一般国道**45号**を連絡する道路として、三陸復興道路整備事業における**復興関連道路**に位置付け。
- 国土交通省が施行する**三陸沿岸道路等の復興道路と一体的に整備**することにより、宮古市内の交通混雑を緩和し、岩手県立宮古病院へのアクセス向上等を推進。
- 山村振興法に基づく**権限代行**により、岩手県が**山口～佐原を整備中**。

